

社会保険制度 周知・広報のための
「年金シニアライフ事業」

実施案

全国社会保険委員会連合会

1. 「年金シニアライフセミナー」開催の目的

年金シニアライフセミナーは、定年前のサラリーマン、特に中小企業に勤める従業員、すなわち厚生年金保険の被保険者及びその配偶者を対象に年金制度を中心とした社会保険全般の知識、退職後の生きがい、家庭経済及び健康の維持増進等に必要な知識を提供し、充実したシニアライフを送れるよう参加者自身に考えていただくものです。

当プログラムは、また、年金を中心とした社会保険制度の周知広報に役立つとともに、従来からの企業に依存した、いわゆる会社人間から脱した新しい時代に合った企業人育成プログラムでもあります。特に大手企業のように独自にライフプランセミナーを開催できない中小企業にとって、こういった公開講座への退職予定者の派遣受講が可能なプログラムは、貴重であり、また社会的にもその果たす役割は大きいといえます。

2. 「年金シニアライフセミナー」の期待される効果

「年金シニアライフセミナー」は、実施主体、参加者、企業のそれぞれにとって次のような効果が期待できます。

《実施主体》

- 社会保険制度の周知広報に有効
- 制度及び行政の施策への理解促進
- 年金委員の資質向上に役立つ
- 年金委員の活動の機会と場の提供
- 高齢社会における国民の多様なニーズに対応
- 年金委員制度の周知とともに実施主体の社会的認知への貢献（社会貢献事業）

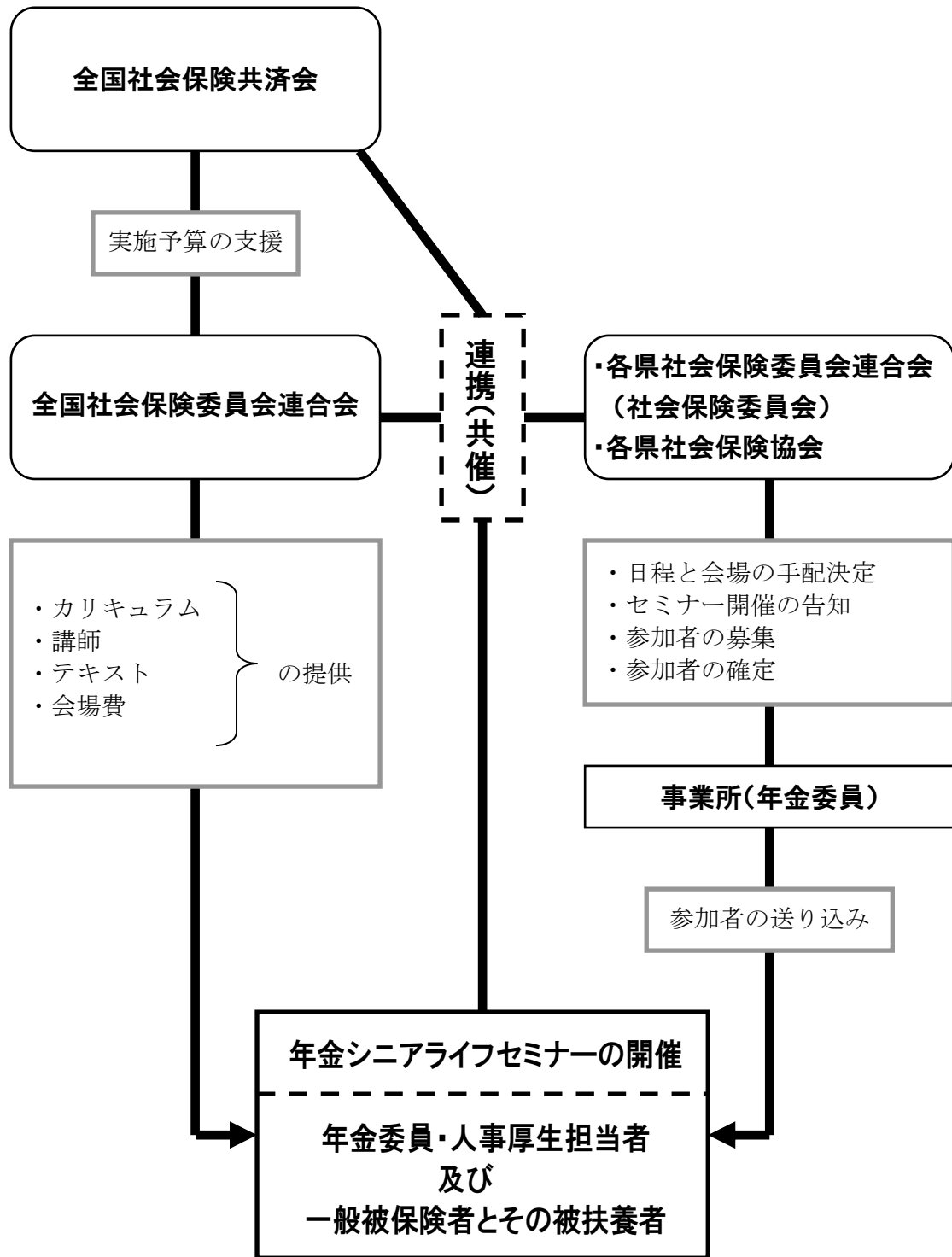
《参加者》

- 社会保険制度の知識習得に役立つ
- 職業生活の重要性を再認識
- 現在の職業生活に張りや充実感を感じず
- 人生に目標を発見
- 個人（家庭）生活の充実
- 中小企業の社員にとって貴重な機会
- 退職後の新しい生活環境へスムーズに適応できる

《企業》

- 単独での開催が難しい中小企業にとって有用
- 企業への信頼感の醸成
- 中高年社員の活性化に貢献（生産性とモラルの向上）
- 福利厚生の一助
- 同時に若年社員の活性化
- 企業の活性化と企業イメージのアップに貢献

3. 年金シニアライフセミナー事業の実施体制



4. 「セミナー」の準備から開催までの作業一覧と役割分担

1、開催準備

(1) 開催日、会場の決定—————各県社会保険委員会連合会等
(全委連にて会場費を支援)

(2) 参加者の募集

① 開催案内の作成—————各県社会保険委員会連合会等

② 開催案内の配付—————〃

③ 参加者の申込み受付、参加者の決定、名簿の作成—————〃

(3) 講師の選定—————(講師の謝金は全委連より支援)

① 「社会保険」—————地元講師を選任

② 「ライフプランと生きがい」—————全委連より講師を派遣
(地元講師の選任も可)

③ 「家庭経済プラン」—————〃

(4) テキスト・資料の作成—————全委連より提供

2、開催当日—————各県社会保険委員会連合会等

(1) 開催会場の設営(机配列、マイク、演壇等)

(2) 参加者受付、テキスト資料の配布

(3) 参加費徴収、領収証発行—————参加費(教材費の一部として)
1人当たり1,000円を徴収する。

(4) 司会進行

(5) 講師接遇

(6) アンケート回収

3、開催後の事務処理—————全委連

(1) 会場使用費の支払い

(2) 講師謝金の支払い

(3) アンケートの集計

(4) 報告書の作成

5. 「年金シニアライフセミナー」のカリキュラム(案)

1. 対象者—原則として50歳以上の厚生年金保険の被保険者とその配偶者
(単独参加、夫婦参加可能) 及び年金委員・人事厚生担当
2. 人数——1回あたり60人～80人程度
3. テキスト—「年金ライフプランのすすめ」他
4. 日程表

時 間	テーマ	内 容	担当講師
12:30	集合・受付	受付、テキスト等の配布	県委員会連合会 県社会保険協会
12:50	開会挨拶・ オリエンテーション	・主催者挨拶 ・スケジュール説明	県委員会連合会 県社会保険協会
13:00	I、年金・医療保険	◆社会保険制度の仕組みと手続き ①社会保険制度の概要 ②シニアライフの生活を支える年金制度	講師 A (地元の社会保 険 OB・社労士)
14:10	休 憩		
14:20	II、ライフプランと 生きがい	◆ライフプランと生きがいについて ①ライフプランはこれからの生活の羅針盤 ②生きがいのある生活とは ③生きがいを築くために	講師 B (年金シニアラ イフ講師)
15:20	休 憩		
15:30	III、家計経済プラン	◆家庭経済について ①これからの家計プランの考え方と長期家 計プランの作成方法	
16:30	閉会挨拶	閉会の挨拶・アンケート記入	県委員会連合会
16:40	解 散		県社会保険協会

※テーマ、カリキュラムについては、上記基本プログラムに「**IV、健康づくり**」
(**自分でつくる健康生活**)を追加することも可能です。なお、その際の**健康
講師 C**は地元の健康運動指導士を予定しています。また、オリジナルテーマ
や講師、プログラムを計画している際にもご相談ください。

※地元講師による独自の教材を使用する場合についてもご相談ください。